

す～ゆに協連職協社

第26号 発行: 茨城社会福祉協議会職員連絡協議会
平成25年 9月 1日 発行



平成25年度事業計画

社会福祉協議会は、人にやさしい福祉のまちづくりを進めるために、地域の皆さんやボランティア及び行政機関等の協力を得ながら共に考え、地域福祉の向上のため各事業を取り組むことが求められています。

茨城社会福祉協議会職員連絡協議会もこのことを推進していくため、次のとおり組織運営・活動を行います。

〈主な活動〉

○研修事業

・支部研修の促進

・社協職員研修システムの活用

○広報活動

・職連協ニュースの発行

・茨城県市町村社協データブックの作成

○支部活動活性化事業

・支部活動助成事業の実施

○福利厚生・互助事業

・退会者への記念品等の贈呈

○他団体との連携

○会務

○その他

・第50回関東ブロック郡市区町村社協職員合同研究協議会開催に向けた協議

☆支部事業紹介☆県西支部

茨城職連協県西支部は、会員数261名、¹0社協で活動を行っております。平成24年度は3回研修を行い、会員の皆様の協力がありまして、大盛況に終わることができました。

第1回研修は、「災害ボランティアセンター設置運営研修会」と題しまして、全日本仏教青年会救済委員長・つくばみらい市曹洞宗高雲寺副住職・災害ボランティア活動支援プロジェクト会議（支援J）メンバーである、米澤智秀氏による講義を頂きました。災害時の状況や社協のあり方、取り組みの中での留意点など学ぶことが出来ました。第2回研修は、日常生活自立支援事業「事例検討の基礎知識と意義」、第3回研修は、「新会計基準について」を実施いたしました。また、平成25年度の交流会では、支部内社協の連携・コミュニケーションを図るためにボウリング大会を実施する予定です。

稲北支部

稲北支部は9社協で運営されており、127名の会員登録があります。平成24年度に支部運営委員が一新、利根町社協が中心となり活動しております。24年度は、2研修と1親睦の事業を実施しました。

研修の第1回目は、茨城県市町村社協事務局長会稲北ブロックとの共催で、経理研修会を実施しました。新会計基準導入に因み、根本税理事務所 根本 明人氏より講演を頂きました。第2回目は、つくば国際会議場において、メンタルヘルス研修会を開催しました。浅井心理相談室（つくば市） 浅井 和幸氏を講師に迎え、うつ病の方への接し方、ストレスコントロールなどについて、事例や笑いを織り交ぜた講演を頂きました。また親睦では、毎年恒例となっている、ソフトバレーボール大会を開催しました。各社協がユニークなチーム名で参加、優勝目指し白熱した試合が展開され、大いに盛り上がりました。25年度は、ソフトバレーボール大会、防災研修（本所防災館見学）を企画しております。会員の皆様にとって、有意義な企画となるよう活動して参ります。

県市町村社協協議会
職員新任・初級研修を開
催します！



9月2日、6日、7日、大子温泉やみぞ（茨城県久慈郡大子町矢田524の2）を会場に県市町村社協協議会新任・初級研修を開催いたします。

オフィスマルチエロ 田中 路子氏、常総市社協事務局長 滝本 栄氏、茨城県社協 福祉のまちづくり推進部長 篠原義典氏などを講師に迎え、研修に取り組みます。

研修では、社協マンとしての知識や社会人としてのマナー、人と人とのつながり・仲間づくりの大切さを学びます。是非、ご参加ください。

〈受講資格〉・・・県市町村社会福祉協議会に採用されて、5年以下の職員で、全日程を受講できる方。
【受講定員】30名 ＊過去に新任職員研修を受講した方でも参加可能です。

平成24年度事業報告

○理事会(2回)・代議員会(2回)・第50回関ブロ実行委員会(4回)

○研修事業

・日本福祉教育・ボランティア学習学会 第18回 いばらき大会(参加支援)

大震災から問い直す「福祉教育・ボランティア学習」のちから

～かたる・つなぐ・くらし～

平成24年11月24日(土)～25日(日)

・第49回関東ブロック郡市区町村社協合同研究協議会

平成24年7月19日(木)～20日(金)

「その時、社協はどうする!？」～社協の真価を問う～

群馬県みなかみ町の水上温泉にて、第49回関ブロが開催されました。あの未曾有の大震災を経験し、私たち社協としての真価が問われました。

初日に基調説明と6分科会が開催され、2日目には「その時、社協はどうする!？」と題してのシンポジウムに始まり、ラストは JPCOM 代表 桑原 英文氏による記念講演「災害にも強い地域を目指して」をもって閉幕となりました。

○広報活動 社協職連協にゅす第25号の発行。平成24年11月1日(木)

○支部活動活性化事業(支部活動助成)

○福利厚生事業(退会者への記念品贈呈)

茨城社会福祉協議会職員連絡協議会では、社協活動に関する調査、研究、提言等のほか、支部活動への支援、会員の資質向上や福利増進、会員間の交流等を目的に、種々の事業を実施いたしました。今後も、会員一人ひとりに必要とされる組織を目指し、各種事業に取り組みたいと思います。ご意見等があれば、どうぞ気軽にお寄せください。

第50回関東ブロック郡市区町村職員合同研究協議会を終えて!!

去る平成25年7月11日(木)～12日(金)の2日間、第50回関東ブロック郡市区町村社協職員合同研究協議会が開催されました。会場は茨城が誇る、つくば国際会議場!! 各都県市区町村社協より、総勢300名の参加がありました。

初日は基調説明に始まり、テーマ毎に分かれての分科会、そして情報交換会へと流れ、普段接することのない他県市区町村社協職員との交流に、貴重な時間を過ごすことができました。

2日目は、東京都で初の民間人校長を務められた、藤原 和博氏による記念講演で「現在は、時代の変化に伴い、人々のニーズも多様化している時代。職員一人一人との繋がりを大切にし、ニーズに合った柔軟な対応を」と力説。50回目という節目を飾るに相応しい講演を頂きました。

私たち社協職員は、地域住民や学校、行政、他社協との連携を強化し、地域福祉の推進に努めることが重要であると、改めて痛感しました。本当に充実した時間は、あっという間に過ぎ去るものです。関ブロ終了時、ロビーにて参加された方々を見送りましたが、皆さんの姿から充実感と明日への活力を感じることができました。

第51回目は、栃木県が担当となりますが、茨城から最高のパスが出せたのではないのでしょうか。また今回、担当県が茨城県という記念すべき時に、実行委員として関わられたことを誇りに思います。



▲ 基調講演



▲ 分科会(第1分科会)



▲ 情報交換会



▲ 記念講演
講師 藤原 和博氏

第26号の編集は
県西・稲北支部が担当
しました。